

## 1. 二酸化塩素による各種金属腐食性試験

■試験方法: 上水+0.25ppm の二酸化塩素ガス通気

■試験液 (ClO<sub>2</sub>): 気相 0.7ppm、液相 9.0ppm、pH6.92

サンプル	相	期間 (日)	消耗量 ( $\mu$ /Y)	腐食状況	判定	
					材料	接点
銅	気相	48	0	光沢なし	A	B
	液相	48	0	光沢あり・変色あり	A	B
鉄	気相	14	105.9	腐食大	A	D
	液相	14	248.0	腐食大	B	D
ブリキ	気相	48	21.0	光沢なし・腐食あり	A	C
	液相	48	91.0	光沢あり・腐食あり	A	C
トタン	気相	48	0	光沢なし	A	B
	液相	48	8.4	光沢なし・変色あり	A	B
アルミ	気相	48	0	光沢なし	A	B
	液相	48	0	変色あり	A	B
ステンレス (SAS304)	気相	48	0	変化なし	A	A
	液相	48	0	変化なし	A	A
ステンレス (SAS316)	気相	48	0	変化なし	A	A
	液相	46	0	変化なし	A	A

【参考: 上水のみ】

鉄	気相	48	1.93	良	A	A
	液相	14	172.0	腐食あり	B	C

※判定の材料 A: <125  $\mu$ m/Y B: 125~1250  $\mu$ m/Y C: >1250  $\mu$ m/Y

※判定の接点 A: 問題なし B: 表面多少劣化 C: 表面劣化 D: 使用不可

## 2. 各種素材変質試験

試験方法: 二酸化塩素濃度 100ppm の液をハンドスプレーにて下記素材に2時間あたり5回の噴霧を30日間に亘っておこない、各素材の変化を目視および触手により判定した。

素材	結果	素材	結果
ステンレス	変化なし。	ウレタン	外観に変化なし。少し硬化した。
鉄	赤錆びが発生した。	木	少し漂白された。
ゴム	外観に変化なし。少し硬化した。	モルタル	変化なし。
塩ビ	変化なし。	スポンジ	変化なし。
ポリエチレン	外観に変化なし。少し硬化した。	たわし	変化なし。
ビニール	外観に変化なし。少し硬化した。	木綿	変化なし。
プラスチック	変化なし。		

- 腐食試験ならびに変質試験については、協力会社にて実施致しました。
- 二酸化塩素による腐食の問題は、ご使用前に仕入先またはメーカーへお問い合わせ下さい。